

新たな事業を共創し、若者が求める職種を増やそう!!

企業+企業
【共に創る】
事業共創



事業共創&コア人材・グローバル人材育成

学生+企業
【共に育つ】
人材育成

複数社の共創による新規事業・新サービス開発

事業開発をテーマにした、学生との共創プロジェクト



提言:次世代の事業は会社の外にある

提言:日々成長を目指す人と企業で繋がろう

提言:本当の学びは学校の外にある

互いの強みを活かす「他社との事業共創」で勝つ!

条件① 「実行力+繋がる場+調整役」を揃える

内需依存型の企業において、人口減少による需要縮小への対応は喫緊の課題です。更にVUCA時代とも呼ばれる激しく変化する市場に追従するため、次々と対策を打ち続けていく必要があります。この状況に対応するには、**実行力のある企業・経営者が繋がる基地**のような場と、**調整役となる人材**の設置が必須条件となります。

条件② 教え・知る、相互探究の機会を増やす

自社のネットワークや、技術などの無形資産の中には、経営者自身では気づかない事業共創のヒントがあります。そこでお勧めするのが他社との相互探究による自社の魅力・能力の見える化です。まるで武器を並べたウエポンロードディスプレイのように可視化することが事業共創の第一歩です。

条件③ 柔軟なチームを作り→チームで創る

変化の速い市場に対応するには、柔軟な事業体制が必須です。そこでカラムでは様々な特徴を持つ事業者のネットワークを作り、**事業内容に応じたチーム編成や、状況に応じたチーム拡張**ができる体制づくりを推進しています。これらの条件をコクリエーションベース「カラム」で揃え、市場の要求に対応するサービスを共創していきましょう!

経営者と学生がWin-Winになる地域未来共創

課題① 企業⇔学生間の不幸なマッチングシステムの改善

地域には、若者が知らない業界トップクラスの企業や素晴らしい経営者が存在し、その一方で経営者が出会うことのない、能力の高い学生が少なからず存在しています。ところが、企業も学生も書面(調査書、求人票など)を頼りに選別し、本来は最優先すべき「人としての相互理解」が中途半端な状態のまま社運や人生を決定しています。

この効率重視の大雑把な分別は多くの不幸なマッチング(Lose-Lose)を生み、人口流出や地方経済衰退の原因となりました。今後は、企業数も社員数も人口も少ない地方だからこそ可能となる、効率よりも精度を優先としたマッチングシステムを作る必要があります。

課題② 長期視点での「相互投資+地域未来共創」の実現

【カラムの求める学生とは?】

成績の良し悪しよりも、将来に向けて自ら根気強く学び、努力を重ねることができる、伸びしろの大きな人材。

【カラムの求める企業とは?】

たとえ誰もが知る大企業ではなくとも、社員を大切に思い、人材に投資することのできる、伸びしろの大きな企業。

そんな**学生と経営者が互いの未来に投資し**、事業開発をテーマに学び創りあげていく。その過程でコア人材・グローバル人材へと成長する様々な体験を提供し、互いの未来を共に作る「地域未来共創」を実現する。

普段と違う体験を増やすと、生き甲斐が見つかる

目標① 将来に向けて、人間力を高めよう!

話すのが苦手、誰かと一緒に作業するのも苦手。リーダーなんて絶対無理。部活も勉強も好きじゃない。やりたい事も無いし将来の仕事なんて考えたことも無い…だけど「こんな自分でいいのかなあ?」と、もし思ったら、まずは学校や自宅以外での体験を増やしてみよう。難しいことから逃げずに仲間と一緒に続けてみましょう。そんな事から、いつのまにか人間力もUP! やりたいことも見つかるかも!

目標② 自己実現する喜びを知ろう!

やってみたいことが見つかったけど、お金も無いし仲間も居ないし、どうすればいいのかさっぱりわからない。でも、やれるものならやってみたい。そんな時は「自己実現家MeetUP」で発表して、支援してくれる仲間を見つけてみましょう。実現に向けてステップを刻み、ひとつずつクリアして、目標に近づく喜びを知りましょう。続ければ何とかかな。これを知ることが生き甲斐を見つける第一歩!

目標③ 他者実現のために活躍しよう!

目標を持って頑張っている仲間を、自分の得意なことで支援する。そんな他者実現への支援が自身を成長させ、ひいては自己実現を加速させます。そんな相互支援体験から思考の幅も広がり、生き甲斐がレベルアップしていくことでしょう。